

# にいがた 畜産協会たより

公益社団法人  
新潟県畜産協会

新潟市西区山田字堤付2310-15  
全農にいがた第2ビル内  
TEL. 025-234-6781  
~6783



(株)渡辺農場が全国優良畜産経営管理技術発表会にて  
「優秀賞」を受賞(関連記事3ページ)

## 目次

- |                            |                            |
|----------------------------|----------------------------|
| ◆会長挨拶 ..... (2)            | ◆声のコーナー..... (7)           |
| ◆全国優良畜産経営管理技術発表会 ..... (3) | 「新たな目標に向かって」               |
| ・(株)渡辺農場が「優秀賞」を受賞          | 養豚経営:(株)ゆたかファーム 高橋 健斗      |
| ◆衛生関係のお知らせ ..... (4)~(5)   | 「タイトル」                     |
| ・家畜防疫・衛生指導対策事業             | 酪農経営:中澤 和明                 |
| ・国内における高病原性鳥インフルエンザ情報      | ◆畜産安心ブランド生産農場だより ..... (8) |
| ◆にいがた畜産女子会..... (6)        | ◆ちくさん女子の窓 ..... (8)        |
| ・リモート女子会の活動紹介              | ◆編集後記 ..... (8)            |
| ◆県事業のお知らせ ..... (6)        |                            |
| ・肥育素牛導入緊急支援事業が始まります        |                            |



## 年頭のご挨拶

公益社団法人新潟県畜産協会  
会長 今井 長司

明けましておめでとうございます。

日ごろから、皆様方には当協会の業務推進に格別のご支援とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

令和3年の年頭に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、とにかく「新型コロナ」に翻弄された年でありました。世界的な感染拡大は、急激な社会経済の減退や生活スタイルに大きな制約と変更を及ぼすだけでなく、私たちの価値観さえも一変させてしまいました。自粛活動の継続は、休校に伴う学校給食の停止、外食産業や観光産業の低迷、インバウンド需要の消滅などを招き、これに係る食材の消費需要が大きく落ち込んだところでした。

畜産業も広くこの影響を受け、その中でも特に肉用牛生産農家においては枝肉価格が大幅に低下し、経営に大きな打撃となってしまいました。

こうした中、平成30年12月から法律に基づき開始された「肉用牛肥育経営安定交付金制度(牛マルキン)」が2月販売分から本格的に発動し、肉用牛農家の経営安定のための支援策として機能したところです。

牛マルキンの窓口機関である当協会としては、補給金支給事務の迅速な処理に努めるとともに、独自事業として「事務手数料」の助成を行うなど、農家支援に努めたところです。

現在、経済活動の再開や国の各種施策の展開等により消費需要は戻りつつあり、牛枝肉価格もようやく前年並みに近づくと、畜産物需給情勢も回復傾向にあります。しかしながら、新型コロナの収束はまだまだ見えないところであり、引き続

き情勢の注視が必要であると思っています。

こうしたコロナ禍に加え、「豚熱」や「高病原性鳥インフルエンザ」といった家畜伝染病の脅威にも見舞われています。本県でも、豚熱ウイルス感染の野生イノシシが多く見つかり、また高病原性鳥インフルエンザウイルスが野鳥の糞や湖水から検出されるなど、家畜への侵入が懸念されているところです。

当協会としては、県などの関係機関と連携しながら、養豚場への野生イノシシ侵入防止のための防護柵設置事業の実施や県内各地での防疫演習の開催など、感染・まん延防止対策の一端を担っているところです。

このような厳しい情勢の中ではありますが、優秀な経営を展開している畜産農家も数多くいらっしゃいます。公益社団法人中央畜産会主催の「全国優良畜産経営管理技術発表会」では、毎年のように本県代表の農家が優秀な成績を収めており、本年度も「優秀賞」を受賞されたところであり、誠に喜ばしい限りです。

当協会としても、「畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(畜産クラスター事業)」を始めとした国・県事業の実施や、「畜産経営体質強化推進事業(経営コンサル)」による農家指導などを通じて、次世代に継承できる収益性の高い魅力的な畜産経営が確立するよう、今後も積極的に支援して参ります。

結びになりますが、令和3年が皆様にとって希望に満ちた明るい年となりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 全国優良畜産経営管理技術発表会で 優秀賞(農林水産省生産局長賞)を受賞

## 上越市:株式会社渡辺農場(肉用牛経営)

令和2年11月25日(水)、第60回農林水産祭参加行事として、公益社団法人中央畜産会の主催で「令和2年度全国優良畜産経営管理技術発表会」が東京都で開催され、本県の株式会社渡辺農場(上越市・肉用牛経営)が優秀賞(農林水産省生産局長賞)を受賞しました。

この発表会は優秀な実績を収めている、または、経営課題の解決に取り組んでいる畜産経営の表彰と、その成果及びそれを支えた経営管理技術の普及拡大のために開催されたもので、全国の畜産協会等から推薦された事例のうち8事例が当日の発表会に選考され、株式会社渡辺農場は代表取締役の渡辺洋一さんが発表しました。

なお、当日は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場は訪問せず、リモート方式にて参加しました。

### 株式会社渡辺農場の経営概況

株式会社渡辺農場は、上越地域で肉用牛(黒毛和種)肥育を行いながら、自家産子牛生産にも取り組んでいる経営です。まだ個人経営であった当時は約30頭の規模でしたが、これでは十分な所得の確保が困難と考え、牛舎の最大収容頭数である88頭を目標に計画的な増頭を始めました。また、素牛価格が高騰した時期に、安価で良質な自家産子牛生産に取り組むこととし、繁殖雌牛の飼養を開始しました。現在も肥育牛・繁殖牛を合わせて120頭を目標に、牛舎を増築する等、増頭に取り組んでいます。

自家産牛肉の販売も行っています。精肉や牛肉加工品を卸業者から買い戻して地域の消費者に直売しており、認知度向上及び収益拡大に努めています。

様々な取組に挑戦しつつも、個体管理の強化等、基本的な飼養管理の徹底のほか、出荷牛の成績分析等により積極的に情報を収集し、また、定期的に関係機関等と飼養管理に関する検討会を実施する等、成績改善に努めています。その結果、肥育成績は年々向上傾向

にあり、また、その技術が評価され、新潟県統一ブランド「にいがた和牛」の肥育名人に認定されました。

コスト低減にも取り組んでおり、特に経費の大部分を占める素牛費については、採算に見合った素牛を選定して導入するようにしているほか、導入後の飼育直しを特に強化することで、良好な発育を促し、枝肉重量を確保しています。

また、平成20年には畜産安心ブランド生産農場に認定され、消費者の食の安全・安心の確保に貢献しています。

地域の若手リーダーとしても活動しており、「上越畜産担い手グループ」のリーダーを務めているほか、JAえちご上越の肉用牛部会会長となり、地域畜産の活性化のために精力的に活動しているほか、「にいがた和牛」肥育名人として、消費者に「にいがた和牛」のPRを行っています。

### 評価ポイント

受賞においては、中央審査委員会において主に下記のポイントが評価されましたのでご紹介します。

- ① 身体に負担がかからないように工夫した牛舎構造の取り入れ
- ② 肥育牛の体重測定や給与飼料の計量等による個体管理の強化
- ③ 高い平均枝肉格付等級の達成及び維持
- ④ 食品営業許可を取得して自家産牛肉を販売する取組



渡辺氏の発表(リモート)

# 家畜防疫・衛生指導対策事業

～生産者主体で防疫演習を実施しています～

新潟県畜産協会では家畜伝染病の発生予防・まん延防止を確実にかつ効率的なものとして地域の自衛防疫体制の構築・強化・維持を図るために、平成25年から（公財）全国競馬・畜産振興会の助成を受けて、生産者主体の防疫演習を開催してきました。

今年度も地元の生産者団体、地域振興局及び家畜保健衛生所等関係機関と協力して、下記の3か所において防疫演習を開催または開催を予定しています。

演習の内容は例年、机上演習と実地演習の2部構成となっていますが、今年度は「飼養衛生管理基準の改正」が大きなテーマとなりました。

令和2年6月24日付で公布された家畜伝染病予防法の改正によって、農場の自衛防疫は責務として雑則から総則に組み入れられ、口蹄疫・豚熱などの悪性家畜伝染病発生予防のために、飼養衛生管理基準の遵守、飼養衛生管理状況の定期報告などの項目が新設されました。

豚熱・鳥インフルエンザ等悪性家畜伝染病が野生動物にまん延している現在、「自分の農場を自分で守る」ことの重要性が大きくなっています。

当協会では、令和3年度も同様の防疫演習の開催を予定しています。生産者団体・関係機関等で、興味を持たれた方は、ぜひ協会までご相談ください。



噴霧器の使用方法の実演（新潟市江南区）

## 令和2年度の開催計画・実績

| 開催日・場所                      | 主催・共催団体  | 参加人数        | 内容   |
|-----------------------------|--|-------------|--|
| 令和2年<br>11月19日(木)<br>新潟市江南区 | 新潟地域農業振興協議会<br>新潟・中蒲原支部<br>新潟地域振興局農林振興部<br>中央家畜保健衛生所<br>JA新津さつき酪農部会<br>JA新潟みらい酪農部会 | 20名         | <b>机上演習</b><br>「家畜伝染予防法の改正について」<br><b>実地演習</b><br>「農場の消毒衛生管理のポイント」             |
| 令和2年<br>12月17日(木)<br>上越市    | 上越地域農業振興協議会<br>糸魚川地域農業振興協議会  | 27名         | <b>机上・実地演習</b><br>「口蹄疫およびCSF等の防疫について」  |
| 令和3年<br>1月22日(金)<br>魚沼市     | 魚沼農業振興協議会畜産部会<br>南魚沼地域農業振興協議会<br>畜産振興部会  | 26名<br>(予定) | <b>机上演習</b><br>「飼養衛生管理基準改正による農場の防疫体制強化等」<br><b>実地演習</b><br>「有効な消毒薬、車両消毒等の実施方法」 |

# 国内で高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されました!

令和2年11月5日、香川県の養鶏農場において今冬初めて高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されて以来、12月24日現在までに国内で32事例の発生が確認されています。

新潟県においても11月16日阿賀野市瓢湖で採取された野鳥糞便および湖水からウイルスが検出されており、農場における発生リスクがかなり高まっている状況です。

飼養衛生管理区域への消石灰の継続的な散布や野鳥・野生動物の鶏舎内の侵入防止対策など、日頃の飼養衛生管理基準の遵守に努めましょう。

現在の海外・国内における発生状況は、農林水産省ホームページにおいて公開されています。

「鳥インフルエンザに関する情報」(農林水産省)

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>

QRコード:



また、新潟県内の発生状況は、新潟県のホームページにおいて公開されています。

「鳥インフルエンザに関する情報」(新潟県)

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/chikusan/1196180201100.html>

QRコード:



## 令和2年度 国内における高病原性鳥インフルエンザ発生状況

(令和2年12月24日時点)

家きん 13県32事例(H5N8\*) \*31, 32例目は重症検査中

| 事例   | 発生場所<br>(疑似重症判定日) | 飼養状況<br>(万羽) | 事例   | 発生場所<br>(疑似重症判定日) | 飼養状況<br>(万羽) |
|------|-------------------|--------------|------|-------------------|--------------|
| 1    | 香川県三豊市(11/5)      | 採卵鶏約31.7     | 26   | 宮崎県日向市(12/14)     | 肉用鶏約4.6      |
| 2    | 香川県東かがわ市(11/8)    | 採卵鶏約4.6      |      |                   | 肉用鶏約2        |
| 3    | 香川県三豊市(11/11)     | 肉用種鶏約1.1     | 26関連 | 宮崎県川南町(12/14)     | (食鳥処理場)      |
| 4    | 香川県三豊市(11/13)     | 肉用種鶏約1       | 27   | 高知県窪毛市(12/16)     | 採卵鶏約2.7      |
| 5    | 香川県三豊市(11/15)     | 採卵鶏約7.7      | 28   | 香川県三豊市(12/16)     | 肉用鶏約1.4      |
| 6    | 香川県三豊市(11/20)     | 採卵鶏約15.4     | 28関連 | 香川県三豊市(12/16)     | 肉用鶏約1.5      |
| 6関連  | 香川県三豊市(11/20)     | 採卵鶏約11.7     | 29   | 徳島県阿波市(12/19)     | 採卵鶏約0.8      |
| 6関連  | 香川県三豊市(11/20)     | 採卵鶏約2        | 30   | 宮崎県宮崎市(12/19)     | 肉用種鶏約3.4     |
| 6関連  | 香川県三豊市(11/20)     | 肉用鶏約5.7      | 31   | 香川県三豊市(12/23)     | 肉用鶏約2.6      |
| 6関連  | 香川県三豊市(11/20)     | 肉用鶏約1.7      | 32   | 千葉県いすみ市(12/24)    | 採卵鶏約116      |
| 7    | 香川県三豊市(11/20)     | 採卵鶏約43.9     |      |                   |              |
| 8    | 香川県三豊市(11/21)     | 採卵鶏約7.5      |      |                   |              |
| 9    | 福岡県宗像市(11/25)     | 肉用鶏約9.2      |      |                   |              |
| 10   | 兵庫県淡路市(11/25)     | 採卵鶏約14.5     |      |                   |              |
| 11   | 宮崎県日向市(12/1)      | 肉用鶏約4.0      |      |                   |              |
| 12   | 宮崎県都農町(12/2)      | 肉用鶏約3.0      |      |                   |              |
| 13   | 香川県三豊市(12/2)      | 採卵鶏約22.5     |      |                   |              |
| 13関連 | 香川県三豊市(12/2)      | 採卵鶏約12.3     |      |                   |              |
| 14   | 香川県三豊市(12/2)      | 採卵鶏約1.9      |      |                   |              |
| 15   | 宮崎県都城市(12/3)      | 肉用鶏約3.4      |      |                   |              |
| 16   | 奈良県五條市(12/6)      | 採卵鶏約7.7      |      |                   |              |
| 17   | 広島県三原市(12/7)      | 採卵鶏約8.5      |      |                   |              |
| 17関連 | 広島県三原市(12/7)      | 採卵鶏約6.2      |      |                   |              |
| 18   | 宮崎県都城市(12/7)      | 肉用鶏約5.9      |      |                   |              |
| 19   | 宮崎県小林市(12/8)      | 肉用鶏約4.3      |      |                   |              |
| 20   | 大分県佐伯市(12/10)     | 肉用鶏約1.4      |      |                   |              |
| 20関連 | 大分県佐伯市(12/10)     | 肉用鶏約2.4      |      |                   |              |
| 20関連 | 大分県佐伯市(12/10)     | 肉用鶏約1.8      |      |                   |              |
| 21   | 和歌山県紀の川市(12/10)   | 採卵鶏約6.8      |      |                   |              |
| 22   | 岡山県美作市(12/11)     | 育雛約52.7      |      |                   |              |
| 22関連 | 岡山県美作市(12/11)     | 育雛約11.8      |      |                   |              |
| 23   | 滋賀県東近江市(12/13)    | 採卵鶏約1.0      |      |                   |              |
| 24   | 宮崎県宮崎市(12/14)     | 採卵鶏約7        |      |                   |              |
| 24関連 | 宮崎県宮崎市(12/14)     | 採卵鶏約4.5      |      |                   |              |
| 24関連 | 宮崎県宮崎市(12/14)     | 採卵鶏約1.1      |      |                   |              |
| 25   | 香川県三豊市(12/14)     | 採卵種鶏約2.8     |      |                   |              |



野鳥 8道県20事例(H5N8)、2県2事例(検査中)・月日は検体回収日(同月日重複は別事例)

北海道紋別市糞便(10/24)、鹿児島県出水市環境試料(水)(11/9,16,23,30,12/7,14,14)・糞便(11/5)、死亡野鳥(12/18) 新潟県阿賀野市環境試料(水)(11/16)・糞便(11/16)、和歌山県和歌山市死亡野鳥(12/3)、岡山県矢掛町死亡野鳥(12/4)、宮崎県延岡市糞便(11/30)・都農町糞便(11/30)、香川県三豊市死亡野鳥(12/8)、鳥取県鳥取市糞便(12/7)・環境資料(水)(12/9)、奈良県大淀町死亡野鳥(12/20 検査中)、鹿児島県出水市衰弱野鳥(12/22 検査中)

(農林水産省HPより)

畜産映像情報

(公社)中央畜産会からのお知らせ

## がんばる!畜産!4

畜産現場の“今”を30分の番組にしました!  
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!  
配信中の内容:作業・管理の外部委託で規模拡大をめざす! / 若者たちの挑戦! / 鶏の卵が食卓に届くまで / 他

▼スマートフォンからはこちら  
▼パソコンからはこちらで検索

**がんばる畜産**

(公社)中央畜産会 経営支援部(情報) TEL03-6206-0846

## にいがた畜産女子会活動紹介

### 「第1回リモート女子会」を開催しました。

10月21日に初の試みとしてリモートによる女子会を開催しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響でなかなか集まることができないので、このような形での開催となりました。

リモートという画面越しの集まりでしたが、いつも集まって話すのと変わらず、楽しく和やかな雰囲気での打ち合わせとなりました。

今月には第2回目リモート女子会を開催する予定です。



リモート女子会の様子

### 会員募集

県内の若手女性畜産関係者のみなさん、**「にいがた畜産女子会」**の仲間になりませんか？

勉強会や現地視察、研修などの他に会員同士や他の農業女性との交流会、6次産業化の視察などを年に数回程度実施しております。

興味のある方はお気軽にお問い合わせ下さい。

担当：佐藤、鈴木

電話：025-234-6782

E-mail: shien@ae.wakwak.com

ホームページはこちら →



## 肥育素牛導入緊急支援事業が始まります

### 事業の目的

- 新型コロナウイルス感染症の影響により県内肥育農家の収益が悪化しており、素牛導入頭数の減少による経営規模の縮小が懸念されています。
- このため、今後の経済活動の回復や肉用牛の需要拡大に備え、県内において肉用牛を肥育する生産者の経営規模の維持を図るため、素牛導入を支援します。

### 事業の内容

肉用牛肥育素牛の導入や自家育成により、経営規模の維持を図る取組に対し奨励金を交付

|      |           |
|------|-----------|
| 肉専用種 | 12,000円/頭 |
| 交雑種  | 6,000円/頭  |
| 乳用種  | 3,000円/頭  |

### 交付対象者の要件

肉用牛肥育経営安定交付金制度(牛マルキン)の登録生産者で、飼養頭数を維持(対前年比90%以上)した者\*

※牛個体識別情報において、令和2年2月1日と比較し令和3年2月1日の肥育牛の飼養頭数が90%以上であること

### 交付対象牛の要件

牛マルキンに登録し、令和2年4月1日～令和3年3月31日に、牛マルキン交付要綱における生産者負担金納付期限を迎えた牛

ただし、前年度に牛マルキンに登録し、牛マルキン交付要綱における生産者負担金納付期限を迎えた頭数に0.9を乗じた数(小数点以下切上げ)を交付上限頭数とする

### その他

- 予算額：33,900千円
- 事業主体：公益社団法人新潟県畜産協会



養豚経営  
村上市  
(株)ゆたかファーム  
高橋 健斗



## コーナー



酪農経営  
新潟市秋葉区  
中澤 和明



### 『 新たな目標に向かって 』

私は高校卒業後の令和元年5月から1年半の間、有限会社坂上ファームさんで研修し、令和2年11月から父の経営する株式会社ゆたかファームで働いています。

高校卒業後、いくつかあった進路の中で養豚の仕事を選んだのは、いつの日か家業を継ぐのであれば、早くから経験を積みたいという気持ちが強かったからです。在学中の休日に家の仕事を手伝っていたことはあるのですが、実際に研修していく中で同じ養豚でも異なる環境や、やり方の違いが多く、今までの感覚とは違うものでした。

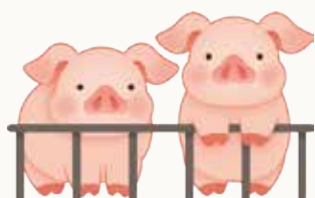
例えば豚の成長過程に合わせたケアや、健康状態の観察、疾病時の薬剤投与やワクチン接種など挙げるときりがない程たくさんあり戸惑うこともありました。ですが、指導していただいている中で、違いはあっても根拠に基づき作業をしていることに気付かされ様々なことを吸収できる日々でした。

今は研修で学んだことをどのように活かし、どうしたらより良く出来るかを父と話し合いながら取り組んでおり、そして、将来は現在の2倍の規模で経営することを目標として、日々努力を重ねています。

今は経営や管理の面では無知な部分が多いのですが、今後一日も早く諸先輩方と話が出来る相手となれるよう日々勉強していきたいと思います。

まずは、農場の作業、管理において細かな事でも見逃さずに農場の変化に早く気付けるよう心掛け、日々目標とチャレンジ精神を持って取り組んでいきたいです。

若輩者の私ですが、やる気は誰にも負けなつもりです。関係者の皆様には、今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。



### 『 後継者として 』

私が実家の酪農経営を始めて、もうすぐ1年が経とうとしています。

私は三男で、農業とは関係のない大学で学び、将来は警察官を目指していました。そんな私でしたが大学三年の時、父が酪農をやめるといだし、それを機に、私が酪農を継いでみたいと思うようになりました。ちょうど酪農ヘルパーの募集があり、大学卒業と同時に1年間ヘルパーをしながら各酪農家を回り、色々な経営を学ぶことが出来ました。2年目は、臨時の酪農ヘルパーをしながら実家の酪農に携わって、問題点や改善点を自分なりに考えて行きました。

そして、3年目で酪農部門を移譲してもらい、本格的に酪農経営に取り組み始めました。

今はまだ、経営者とはとても言えませんが、獣医さんや普及員の方、JAや農業共済の方、飼料会社、家畜商の方などに教えてもらいながら、自分なりの酪農経営を模索しているところです。

酪農経営は、牛の繁殖が経営に大きく影響しますし、経産牛や育成牛、子牛の飼養管理はもちろん大事で、さらに購入飼料や添加剤は牛の状態を見て栄養価の過不足ないようにしなければいけません。また、それらの価格は経営状態に直結するので一番大事な事だと考え、はじめに飼料設計を見直しました。

さらに、粗飼料の牧草作りに力を入れ、いい牧草作りに励んでいます。牧草は、どの作物を栽培するより難しいと言われるように、牧草地にいかにか雑草を生えさせないかという難しさに苦戦しています。

酪農経営をするということは、牛乳をただ搾ればいい、ということではなく、色々な事に気を配りながら、体を動かして頑張らなければいけないということだと思えます。しかし大変なことばかりではなく、頑張れば頑張っただけの成果があるので、やりがいがあります。

まだ、私は酪農経営の戸を叩いただけかもしれませんが、これから色々な経験を積んで、胸を張れる酪農経営をしたいと思っています。



## ブランド生産農場だより

株式会社Moimoiファーム：畔原 健太  
(新潟市南区)

(株)Moimoiファームは約90頭の経産牛を社長と私、従業員1名、アルバイト1名の4名で飼養しています。私がこの会社に就職して12年目ですが、当初はこんなに長くお世話になるとは想像もしていませんでした。もともと、実家が酪農をしていて2、3年研修を…と思っていたのですがその前に実家が廃業してしまい今に至ります。当初の考えていた道のりとは変わってしまいましたが現在は会社の次期後継者として、大変で忙しくはありますが充実した日々を送っています。

自農場は平成20年にクリーンミルク生産農場に認定されました。乳質についても農場内で目標を立て、中央家畜保健衛生所のサポートもあり、一定の水準をクリアしていました。転機が訪れたのは搾乳ロボットを導入したことです。

搾乳ロボットの導入によって、乳質の悪化を招いてしまいました。人が搾らないために、乳房炎の発見が遅れてしまったことが原因です。しかし、これをきっかけに農場内では今まで以上に乳質に対する意識が高まりました。そして度重なる試行錯誤や家保の更なるサポートのかいもあり、最近では改善の成果が見えてきました。

私には漠然とですが夢があります。それは将来的には自農場の生乳を使い加工品の製造、販売を行いたいというものです。それには乳質はダイレクトに影響があると思います。夢のために、今の成績に満足することなく、これからも乳質改善のために努力し続けたいと思います。



## ちよんさん女子の窓

肉用牛経営：阿部 恵梨  
(長岡市)

牛飼いに転職し、5年目を迎えます。以前はよく、前の職場や仲間達の事を思い出しては「戻りたい」と思う日々を送っていましたが、現在は1人で出来る事が幾らか増え、思い返す事も減りました。

そのきっかけの1つに、「畜産女子会」の存在もあります。昨年の夏、初めて梅干し作りに挑戦しました。女子会仲間に、メールや写真を送っては助言してもらいつつ、失敗せず作り上げる事が出来ました。

仕事の事だけでなく、色々な刺激をもらえる女子会。今はコロナ禍でリモートですが、今までと同じとはいかなくとも、集まって顔を合わせて開催出来る日がくる事を願っています。そして、今年も梅干し作りします。牧草の繁忙期の頃に干すのですが…欲張ってもう少し多く作ってみようと思っています。

何処からか…苦情も聞こえてきそうですが(笑)。子牛育ても変わらず頑張ります!



## 編集後記

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年はどこかやるせない日々が続いたと個人的に感じています。これまでの常識や当たり前だったことが崩れ去り、また一から考えたり築く必要に迫られました。こんな状況はもうこれっきりにしてもらって、早くこれまでの日常に戻りたいものです。

最後になりますが、皆様はどんな初夢を見ましたか。きっと、マスクのない笑顔で過ごす内容だと思えます。初夢が現実になるよう、今年も頑張っていきたいと思います。

(編集担当：青木)